

## コメ研究会設置について

### 1. 目的

本取引所がコメ先物市場開設の認可申請を行い、諸般の事情により不認可となって以来4年超が経過したが、この間、コメの生産・流通をとりまく環境は大きく変化している。即ち、生産面では、主食用米については今年度より戸別所得補償制度が導入され、生産調整への参加も個々の農業者の判断に委ねられることとなった。一方、流通面では、現物市場であるコメ価格センターにおいては取引の減少により実勢に即した価格の形成が困難となっている。

このような状況において、コメの生産・流通現場では、コメの集荷・販売の競争が激化する中で、価格変動に対するリスクヘッジニーズが高まるとともに、公正で透明性のある指標価格の提供に対する要請が強まっている。

そこで本取引所は、前回申請以降のコメ生産・流通環境の大きな変化を踏まえ、コメの需給調整と関係事業者の経営安定に寄与する産業インフラとしてのコメ先物市場の役割を整理するとともに、投機資金や極端な価格変動など先物市場に対する様々な懸念に鑑み、市場管理等その対応を整理することを目的として、今般「コメ研究会」を立ち上げるものとする。

### 2. 研究内容

- (1) 前回申請以降のコメ生産・流通の変化
  - 生産制度（戸別所得補償制度、水田フル活用制度等）
  - 流通制度（価格センター、表示問題等）
- (2) 現在のコメ生産・流通事情と先物市場の関係
  - コメ生産・流通現場における価格変動リスクの所在、指標価格の必要性
  - 産業インフラとしての先物市場の機能
  - 現在のコメ生産・流通事情とコメ先物市場の必要性
- (3) 先物市場に対する懸念事項とその対応
  - 先物市場における投機資金
  - 先物市場と現物市場の価格変動
  - 先物市場における市場管理

### 3. 研究会の進め方

- (1) 研究期間
  - 平成22年6月にスタートし、年内に成果を取りまとめる。
- (2) 開催頻度
  - 月1回程度（合計5回を予定）
- (3) 進行方式
  - 事務局が用意した資料をもとにフリーディスカッションを行う。
  - 議題に沿って専門家を招き、メンバーとの間でディスカッションを行う。

**コメ研究会日程案**

回数	年月	議題
第1回	平成22年6月下旬 又は7月上旬	各委員の紹介及び座長・座長代理の選任 前回申請の経緯、今後の進め方等について
第2回	平成22年9月	前回申請以降のコメの生産・流通の変化について 関係当業者ヒアリング
第3回	平成22年10月	現在のコメ生産・流通事情と先物市場の関係について 関係当業者ヒアリング
第4回	平成22年11月	先物市場に対する懸念事項とその対応 関係者ヒアリング
第5回	平成22年12月	コメ研究会報告書（案）取りまとめ

**4. メンバー（8名、敬称略・順不同）**
**（1）学識経験者**

矢坂 雅充（東京大学大学院経済学研究科准教授）

高木 賢（弁護士）

村田 泰夫（元朝日新聞編集委員）

茅野 信行（國學院大學経済学部教授）

**（2）当業者等**

岡地 和道（岡地㈱代表取締役社長）

木村 良（全国米穀販売事業共済協同組合理事長）

木之下 悟（全国主食集荷協同組合連合会常務理事）

藤岡 茂憲（日本農業法人協会前副会長、(有)藤岡農産代表取締役、食糧部会委員）

以上